

東北厚生局長 殿

学校法人 岩手医科大学

理事長 小川 彰

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	35 人
--------	------

(注)前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	378 人	90 人	412.1 人	看護業務補助	103 人	診療エックス線技師	
歯 科 医 師	84 人		84 人	理学療法士	9 人	臨床 検査	臨床検査技師 76 人
薬 剤 師	55 人		55 人	作業療法士	3 人		衛生検査技師
保 健 師	1 人		1 人	視能訓練士	7 人	そ の 他	
助 産 師	41 人		41 人	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	4 人
看 護 師	1,169 人	2 人	1,169.7 人	臨床工学技士	24 人	医療社会事業従事者	6 人
准 看 護 師	3 人		3 人	栄 養 士	10 人	そ の 他 の 技 術 員	56 人
歯科衛生士	36 人		36 人	歯 科 技 工 士	9 人	事 務 職 員	139 人
管理栄養士	18 人		18 人	診療放射線技	57 人	そ の 他 の 職 員	49 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	835.0 人	22.8 人	857.8 人
1日当たり平均外来患者数	1561.8 人	417.0 人	1978.8 人
1日当たり平均調剤件数	外来 465 剤	入院 960.3 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤件数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
・腹腔鏡下スリーブ状胃切除術	9人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人

(注) 1「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。
2「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
・内視鏡下頸部良性腫瘍手術	10 人
・ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術	1 人
・パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法	2 人
・パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びベバスズマブ静脈内投与の併用療法並びにベバスズマブ静脈内投与による維持療法	0 人
・神経症状を呈する脳放射線壊死に対する核医学診断及びベバスズマブ静脈内投与療法	1 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人
	0 人

(注) 1「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生告示第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。
 2「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

3 その他の高度医療

医療技術名	取扱患者数	人
無し		
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入するこ

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ペーチェット病	69人	・膿疱性乾癬	17人
・多発性硬化症	95人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	81人	・原発性胆汁性肝硬変	54人
・全身性エリテマトーデス	214人	・重症急性膵炎	9人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	30人
・再生不良性貧血	44人	・混合性結合組織病	39人
・サルコイドーシス	144人	・原発性免疫不全症候群	5人
・筋萎縮性側索硬化症	29人	・特発性間質性肺炎	8人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	128人	・網膜色素変性症	53人
・特発性血小板減少性紫斑病	67人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	23人	・原発性肺高血圧症	6人
・潰瘍性大腸炎	165人	・神経線維腫症	33人
・大動脈炎症候群	35人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	5人	・バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	1人
・天疱瘡	21人	・特発性慢性肺血栓栓症 (肺高血圧型)	2人
・脊髄小脳変性症	53人	・ライソゾーム病 (ファブリー [Fabry] 病) 含む	3人
・クローン病	117人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症 (純接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	6人	・脊髄性筋萎縮症	4人
・パーキンソン病関連疾患	259人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	8人
・後縦靭帯骨化症	40人	・肥大型心筋症	3人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病 (ウィリス動脈輪閉塞症)	58人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	3人	・リンパ管筋腫症 (LAM)	0人
・特発性拡張型 (うっ血型) 心筋症	60人	・重症多形滲出性紅斑 (急性期)	0人
・多系統委縮症	24人	・黄色靭帯骨化症	5人
・表皮水疱症 (接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害	35人

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方式に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・先天性難聴の遺伝子診断	
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	
・抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査	
・抗悪性腫瘍剤感受性試験（HDRA法又はCD-DST法）	
・超音波骨折治療法	

(注) 「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方式に先進医療から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に2回	
剖検の状況	剖検症例数 14 例	剖検率 3.4 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績
(報告対象期間 平成24年4月～平成25年3月)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
経口感染する肝炎ウイルス(A型、E型)の感染防止、遺伝的多様性、および治療に関する研究	鈴木 一幸	内科学講座 消化器・肝臓内科分野	1,000,000	補 厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 (岡本班) 委
肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査および治療導入対策に関する研究	阿部 弘一	内科学講座 消化器・肝臓内科分野	1,000,000	補 厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 (田中班) 委
原発性高脂血症に関する調査研究	石垣 泰	内科学講座 糖尿病・代謝内科分野	1,500,000	補 厚生労働省 難治性疾患克服研究事業 (石橋班) 委
日本人1型糖尿病の包括的データベースの構築と臨床研究への展開	高橋和真	内科学講座 糖尿病・代謝内科分野	800,000	補 国際医療研究開発事業 委
被災地における心不全患者の在宅療法に関する研究	中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野	15,000,000	補 厚生労働省科学研究費補助金 委
在宅心不全ハイリスク患者に対する生活習慣改善支援の有効性に関する研究	中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野	15,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金(地域医療 基盤開発推進研究事業)橋本班 委
大規模災害における循環器病診療の体制と手法の確立に関する多施設共同研究	中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野	1,650,000	補 厚生労働科学研究費補助金(循環器 疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合 研究事業)内藤班 委
大津波被災が心血管疾患および脳卒中の発症に与える影響とその対策に関する研究	中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野	65,000,000	補 公益財団法人 武田科学振興財団 委
ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備	石田陽治	内科学講座 血液・腫瘍内科分野	800,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
東北地方のがんネットワークによるがん診療連携拠点病院の化学療法の均てん化事業	伊藤薫樹	内科学講座 血液・腫瘍内科分野	1,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
J-ADNIコアスタディ:画像・バイオマーカーの解析・活用と臨床研究体制の確立	寺山靖夫	内科学講座 神経内科・老年科分野	1,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
認知症地域連携マップの作成	寺山 靖夫	内科学講座 神経内科・老年科分野	1,400,000	補 長寿医療研究開発費(武田班) 委
ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術の多施設共同試験	若林 剛	外科学講座	72,800,000	補 厚生労働省科研費 委
治療後の再発リスクが高い進行胃がん(スキルス胃がんなど)に対する標準的治療の確立に関する研究	肥田圭介	外科学講座	600,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
脳内留置型微細内視鏡の開発と前臨床試験研究	小笠原邦昭	脳神経外科	7,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
遠隔医療を実施する拠点病院のあり方に関する研究	小笠原邦昭	脳神経外科	主任一括	補 厚生労働科学研究費補助金 委
包括的脳卒中センターの整備に向けた脳卒中の救急医療に関する研究	小笠原邦昭	脳神経外科	400,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
異種生体情報を統合表示する術中言語機能モニタリングシステム(ICMAS)の実用化	小笠原邦昭	脳神経外科	595,000	補 経済産業省 委
症候性脳放射線壊死に対する核医学的診断とペバシズマブの静脈内投与による治療	別府高明	高気圧環境医学科	主任一括	補 厚生労働科学研究費補助金 委
遠隔医療を実施する拠点病院のあり方に関する研究	小川彰	理事長・学長	10,400,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
岩手県における東日本大震災被災者の支援を目的とした大規模コホート研究	小川彰	理事長・学長	100,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
脳内留置型微細内視鏡の開発と前臨床試験研究	祖父江憲治	副学長	52,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
卵巣明細胞腺癌に対するテムシロリムスを含む化学療法の有効性および安全性に関する研究	杉山徹	産婦人科学講座	1,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究	千田勝一	小児科学講座	7,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金(育成疾患 克服等次世代育成基盤研究事業(呉 班)) 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
モバイル型感染症サーベイランスの構築	千田勝一	小児科学講座	4,425,000	補 厚生労働科学研究費補助金地球規模 保健課題推進研究事業 委
7T 超高解像度MRSを用いた早産・低出生体重児脳内生化学的 評価	赤坂真奈美	小児科学講座	1,480,000	補 私立大学戦略的研究基盤形成支援事 業 委
被災地で医療従事者が診療に活用するモバイル遠隔医療システ ムの開発	小山耕太郎, 高橋信, 早田航	小児科学講座	1,200,000	補 経済産業省地域イノベーション協創プ ログラム補助金 委
地域医療基盤開発推進研究事業。遠隔医療を実施する拠点病 院のあり方に関する研究	小山耕太郎	小児科学講座	8,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 (小川班) 委
低出生体重児に試用可能なpush-pull方式血液浄化装置の開発	石川 健	小児科学講座	1,500,000	補 委
膀胱内カテーテル留置法の確立	古川ひろみ	小児科学講座	450,000	補 公益財団法人 森永奉仕会 委
前庭水管拡大症の臨床所見と遺伝子変異解析に基づく新診断基 準作成	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	350,000	補 障害者対策総合研究事業 委
遺伝性難聴および外耳、中耳、内耳奇形に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	500,000	補 難治性疾患克服研究事業 委
新しい難聴遺伝子診断システム野開発および臨床応用に関する 研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	500,000	補 障害者対策総合研究事業 委
急性高度難聴に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	700,000	補 難治性疾患克服研究事業 委
Usher症候群に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	400,000	補 難治性疾患克服研究事業 委
優性遺伝形式をとる遺伝性難聴に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	1,000,000	補 難治性疾患克服研究事業 委
高精度超音波画像診断装置の開発	志賀 清人	耳鼻咽喉科学講座	21,000,000	補 厚生労働省「革新的医療機器等開発 事業」 委
組換え体乳酸菌を用いた頭頸部進行・再発癌に対する遺伝子治 療の開発と臨床応用	志賀 清人	耳鼻咽喉科学講座	300,000	補 科学研究費 挑戦的萌芽研究 委
ナノテクノロジーを用いた頭頸部癌の定期的な診断・治療法の開 発と臨床応用	志賀 清人	耳鼻咽喉科学講座	1,300,000	補 科学研究費 基盤研究(C) 委
オカルト黄斑ジストロフィーの効果的診断法の確立および病態の 解明	町田 繁樹	眼科学講座	1,000,000	補 難治性疾患克服研究事業 委
新しい革新的な診断法の開発のための研究:画像診断に対する 多施設共同臨床試験の体制確立に関する研究	江原茂	放射線医学講座	1,000,000	補 国立がん研究センター研究開発費(楠本 班) 委
がん医療の質的向上および均てん化のための診療支援に関す る研究:骨軟部病変における画像診断レファレンスデータベース 構築	江原茂	放射線医学講座	1,000,000	補 国立がん研究センター研究開発費(女屋 班) 委
遠隔医療を実施する拠点病院のありかたに関する研究	江原茂・田中良一	放射線医学講座		補 厚生労働省地域医療基盤開発研究事 業 委
マイクロビーム画像技術の高度化とその応用	原田聡	放射線医学講座	800,000	補 日本原子力研究開発機構 委
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究	八木淳子	神経精神科学講座	4,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
被災後の子供の心の支援に関する研究	八木淳子	神経精神科学講座	2,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
自殺対策のための複合的介入法の開発に関する研究	酒井明夫	神経精神科学講座	1,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
東日本大震災における精神疾患の実態についての疫学的調査と 効果的な介入方法の開発についての研究	酒井明夫	神経精神科学講座	3,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
肥満残存高血圧合併睡眠時無呼吸患者に対する防風通聖散及 び大柴胡湯の治療効果の比較と病態生理の解明	櫻井滋	睡眠医療学科	150,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委
大規模災害における循環器病診療の体制と手法の確立に関する 多施設共同研究	森野禎浩	内科学講座 循環器内科分野	1,400,000	補 厚生労働科学研究費補助金 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腸管不全に対する小腸移植技術の確立に関する研究	石田和之	病理学講座分子診断病理学分野	0	補 厚生労働科学研究費補助金 委
進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の標準的治療法確立に関する研究	大塚幸喜	外科学講座	0	補 厚生労働科学研究費補助金 委
切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療に関する研究	肥田圭介	外科学講座	0	補 厚生労働科学研究費補助金 委
進行卵巣癌・卵管癌・腹膜癌に対する腹腔内化学療法確立のための研究	杉山徹	産婦人科学講座	0	補 厚生労働科学研究費補助金 委
卵巣明細胞腺癌に対するmTOR阻害剤の有効性に関する研究の プロトコル作成と研究体制整備	杉山徹	産婦人科学講座	0	補 厚生労働科学研究費補助金 委
再発卵巣癌・卵管癌・腹膜癌の予後改善のための新たな治療法 確立のための研究	杉山徹	産婦人科学講座	0	補 厚生労働科学研究費補助金 委
進行卵巣がんに対する分子標的薬の国際共同・医師主導型治験	杉山徹	産婦人科学講座	0	補 厚生労働科学研究費補助金 委
被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び 介入手法の向上に資する研究	酒井明夫	神経精神科学講座	0	補 厚生労働科学研究費補助金 委
自殺対策のための効果的な介入手法の普及に関する研究	大塚耕太郎	神経精神科学講座	0	補 厚生労働科学研究費補助金 委
被災地における精神障害等の情報把握と介入効果の検証及び 介入手法の向上に資する研究	鈴木満	神経精神科学講座	0	補 厚生労働科学研究費補助金 委
悪性神経膠腫に対するTemozolomideの治療効果を増強した標 準治療確立に関する研究	別府高明	高気圧環境医学科	0	補 厚生労働科学研究費補助金 委
医療用医薬品の使用上の注意の在り方に関する研究	工藤賢三	臨床薬理学講座	0	補 厚生労働科学研究費補助金 委
				計 62件 金額 416,900,000

高度の医療技術の開発及び評価の実績報告
 (報告対象期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日)

2.論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepato-Gastroenterology 59 795-799 2012	Viral decline over 48th and HCV amino acid mutations are related to efficacy of PEG-IFN/Rivavirin	Akio Miyasaka	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Journal of Symptoms and Signs Vol.1 Number2 38-44 2012	Clinical effect and significance of cisplatin for advanced hepatocellular carcinoma	Kzuhiro Kasai	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Cace Reports in Gastroenterology 6 465-471 2012	Unusual Manifestation of Gastric Helicobacter pylori Infection	Amit K. Dutta	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol 302 77-84 2012	Mechanisms of lysophosphatidylcholine-induced hepatocyte lipoapoptosis	Keisuke Kakisaka	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Hepatology Research 42 621-626 2012	Guidelines on nutritional management in Japanese patients with liver cirrhosis from the perspective of preventing hepatocellular carcinoma	Kazuyuki Suzuki	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Hepato-Gastroenterology 59 1464-1468 2012	Gastric motility and emptying in cirrhotic patients with portal hypersensitive gastropathy	Masaki Sato	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
World Journal of Gastroenterology 18(29) 3889-3895 2012	Non-invasive determination of hepatic steatosis by acoustic structure quantification from ultrasound echo amplitude	Hidekatsu Kuroda	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Cace Reports in Gastroenterology 6 569-575 2012	Colonic Mucosa-Associated Lymphoid Tissue Lymphoma	Risaburo Akasaka	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
消化器内視鏡 24(4) 439-443 2012	鎮静および前処置に伴う偶発症	遠藤龍人	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
消化器の臨床 15(3) 296-302 2012	C型慢性肝疾患における栄養マネジメントの実際	遠藤龍人	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
日本医事新報 4609 82-88 2012	消化器疾患に対する心身医学的アプローチ 過敏性腸症候群の最近の話題	千葉俊美	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
medicina 49(7) 1222-1225 2012	肝性脳症の治療	加藤章信	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
消化器の臨床 16(1) 31-35 2012	IBSにおける遺伝子多型	鳥谷洋右	内科学講座 消化器・肝臓内科分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Microwave Surgery 30 47-52 2012	進行肝細胞癌に対する最新治療	葛西和博	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Journal of Microwave Surgery 30 125-128 2012	肝細胞癌に対する経皮的ラジオ波焼灼術 -CEUS/3DUS Fusion Imaginを用いた治療効果判定-	黒田英克	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
治療 94(9) 1558-1563 2012	肝性脳症の治療診断・治療に必要な知識 (ミニマル肝性脳症を含めて)	鈴木一幸	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
医学と薬学 68(6) 954-959 2012	大腸ポリープ	千葉俊美	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
診断と治療 101(2) 267-271 2012	便秘の診断の進め方-慢性機能性便秘と便秘型過敏性腸症候群 の鑑別など	千葉俊美	内科学講座 消化器・肝臓内科分野
Tohoku J Exp Med. 226(2):161-9. 2012	Different susceptibility to insulin resistance and fatty liver depending on the combination of TNF- α C-857T and adiponectin G+276T gene polymorphisms in Japanese subjects with type 2 diabetes.	Mio Ohara	内科学講座 糖尿病・代謝内科分野
Immunobiology 217(5) 533-539 2012	Expression of let-7i is associated with Toll-like receptor 4 signal in coronary artery disease: Effect of statins on let-7i and Toll-like receptor 4 signal	Satoh, M	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
J Cardiology 59 321-328 2012	Relationship between CHA(2)DS(2)-VASc scores and ischemic stroke/cardiovascular events in Japanese patients with paroxysmal atrial fibrillation without receiving anticoagulant therapy	Komatsu, T	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
Int Heart J 53(3) 176-181 2012	Plasma B-type natriuretic peptide is useful for cardiovascular risk assessment in community-based diabetes subjects: Comparison with albuminuria	Onodera, M	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
J Arrhythmia 28(3) 162-169 2012	Current strategies of antiarrhythmic drug therapy for paroxysmal atrial fibrillation	Komatsu, T	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
Journal of Cardiology Cases 6(3) e81-e87 2012	Effective delayed percutaneous coronary intervention for advanced atrial ventricular block in patients with recent myocardial infarction	Itoh, T	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
Clinical Science 123 161-171 2012	MicroRNA-34a regulates the longevity-associated protein SIRT1 in coronary artery disease: effect of statins on SIRT1 and microRNA-34a expression	Tabuchi, T	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
Am J Cardiol 110(12) 1856-1860 2012	Comparison of the incidence of acute decompensated heart failure before and after the major tsunami in Northeast Japan	Nakamura, M	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
Int Angiol 31(5) 427-432 2012	Factors related to long-term prognosis in medically treated type B aortic dissection: a physical predisposing factor	Nagai, M	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circ.J 77(3) 639-645 2013	Relationship between CHADS2 score and efficacy of antiarrhythmic drug therapy in patients with paroxysmal atrial fibrillation	Komatsu, T	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
Journal of Cardiology Cases 7(5) e149-e152 2013	Spontaneous healing of saccular type aneurysm with ventricular septal lacerations after blunt chest trauma	Itoh, T	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
Journal of Cardiology Cases 7(6) e168-e170 2013	Very late stent thrombosis after paclitaxel-eluting stent implantation with full neointimal tissue coverage visualized by optical coherence tomography	Ishikawa, Y	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
Int Heart J 54(3) 160-165 2013	Comparison of utility of arterial stiffness parameters for predicting cardiovascular events in the general population	Ishisone, T	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
Intern Med 52(10) 1013-1018 2013	Mild renal dysfunction on admission is an important prognostic predictor in patients with infective endocarditis: a retrospective single-center study	Koeda, C	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
Progress in Medicine 32 (Suppl) 487-491 2012	心房細動に対するワルファリンの抗凝固管理と各抗不整脈薬併用による Time in Therapeutic Range の影響	小澤真人	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
Heart View 16(7) 708-713 2012	特集:災害時における循環器診療—どう立ち向かうか— 震災時における発症増加の機序を織る 震災と心不全	肥田頼彦	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
臨床と研究 89(8) 104-110 2012	発作性心房細動例における洞調律維持を目的とした抗不整脈薬療法の性差別治療成績	小松隆	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
心臓 44 (Suppl2) 36-40 2012	当院救命救急センターへ搬送されたCPA患者の現状について	高橋智弘	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
岩手医誌 64(4) 261-268 2012	Stanford B型大動脈解離の慢性期予後への影響因子の検討	長井瑞祥	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
心臓 44 (Suppl3) 43-48 2012	完全右脚ブロックならびに冠縮狭心症を合併したBrugada症候群の1例	梶田房紀	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
Progress in Medicine 33 (Suppl1) 723-725 2013	I群抗不整脈薬治療抵抗性発作性心房細動におけるアミオダロンの長期予防効果 -層別解析による比較検討-	梶田房紀	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
日本循環器病予防学会誌 48(1) 18-22 2013	循環器予防とバイオマーカーBNPと心血管疾患;日本人コホート研究の重要性	中村元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
心電図 33(1) 40-48 2013	本邦における非弁膜症性発作性心房細動例の虚血性脳卒中および全身性塞栓のリスク層別化	小松隆	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cardiol Jpn Ed	重症急性循環不全を合併した甲状腺クリーゼの1救命例	肥田親彦	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野
Neuroradiology 54 939-945 2012	Quantitative assessment of changes in carotid plaques during cilostazol administration using three-dimensional ultrasonography and non-gated magnetic resonance plaque imaging.	Mao, Yamaguchi	内科学講座 神経内科・老年科分野
Neuroradiology 54 1187-1194 2012	Carotid plaque signal differences among four kinds of T1-weighted magnetic resonance imaging techniques: A histopathological correlation study.	Ayumi, Saito	内科学講座 神経内科・老年科分野
岩手医学雑誌 64 89-97 2012	パーキンソン病の臨床症状と黒質および青斑核の神経メラニンイメージングの検討.	Mizuho, Koide	内科学講座 神経内科・老年科分野
J Hepatobiliary Pancreat Sci. (印刷中/in press)	Laparoscopic left lateral sectionectomy as a training procedure for surgeons learning laparoscopic	Hasegawa Y	外科学講座
Surg Laparosc Endosc Percutan Tech 22巻 5号 396~399ペー ジ 2012年	Single-port versus multi-port laparoscopic cholecystectomy: A prospective randomized clinical trial	Sasaki A	外科学講座
J Hepatobiliary Pancreat Sci 20 巻 2号 111~113ページ 2013年	Impact of hybrid techniques on laparoscopic major hepatectomies	Nitta H,	外科学講座
Surgery Today 42巻 10号 940~ 944ページ 2012年	Totally laparoscopic stapled distal pancreatectomy	Katagiri H	外科学講座
日本外科系連合学会誌 37巻 5号 902~905ページ 2012年	腹腔鏡下肝切除における肝実質切離の基本手技	長谷川 康	外科学講座
Neuroradiology 54(7) 681-689 2012	Detecting damaged regions of cerebral white matter in the subacute phase after carbon monoxide poisoning using voxel-based analysis with diffusion tensor imaging	Shunrou, Fujiwara	脳神経外科学講座
Journal of Neurology 259(8) 1698-1705 2012	Fractional anisotropy in the centrum semiovale as a quantitative indicator of cerebral white matter damage in the subacute phase in patients with carbon monoxide poisoning: correlation with the concentration of myelin basic protein in cerebrospinal fluid	Takaaki, Beppu	高気圧環境医学科 脳神経外科学講座
J Pediatr 160 342-344 2012	Proton magnetic resonance spectroscopic images in preterm infants with bilirubin encephalopathy	Kamei A	小児科学講座
岩手医誌 64 131-135 2012	脳室周囲白質軟化症に合併した点頭てんかんの短期治療効果	曾我菜海	小児科学講座
岩手医誌 64 247-253 2012	早産児の便中calprotectinの経時的測定とその影響因子解析	浮津真弓	小児科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
岩手医誌 64 269-275 2012	好中球CD64発現量の小児基準値の検討	松下翔子	小児科学講座
岩手医誌 64 287-298 2012	早産極低出生体重児の成人期予後とその危険因子解析	鈴木 悠	小児科学講座
岩手医誌 64 351-361 2012	極低出生体重児の3歳時予後と神経学的障害の危険因子解析	白澤聡子	小児科学講座
Brain & Development 35 87-90 2013	Aicardi-Goutières syndrome with systemic lupus erythematosus and hypothyroidism	Kamei A	小児科学講座
てんかん研究 30 504-510 2013	ミオクローニ-失立発作てんかんに対するエトスクシミドにより重症型再生不良性貧血を来した症例	赤坂真奈美	小児科学講座
日小児腎臓病会誌 26 7-12 2013	溶血性尿毒症症候群におけるurinary neutrophil gelatinase-associated lipocalinの測定	石川 健	小児科学講座
日小児腎臓病会誌 26 77-81 2013	エアフリーチャンバ式圧力モニタの血液浄化装置が回路内凝血防止に有用と考えられた2小児例	高田 彰	小児科学講座
Intensive Care Med 38 886-93 2012	Renal bioenergetics during early gram-negative mammalian sepsis and angiotensin II infusion.	May CN	小児科学講座
PLoS One 7 e29693 2012	The effects of terlipressin on regional hemodynamics and kidney function in experimental hyperdynamic sepsis.	Ishikawa K	小児科学講座
Anesth Analg 115 330-42 2012	The systemic and regional hemodynamic effects of phenylephrine in sheep under normal conditions and during early hyperdynamic sepsis.	Morimatsu H	小児科学講座
Crit Care Med 40 2368-75 2012	Effect of selective inhibition of renal inducible nitric oxide synthase on renal blood flow and function in experimental hyperdynamic sepsis.	Ishikawa K	小児科学講座
Exp Physiol 97 1168-77 2012	Novel targets for sepsis-induced kidney injury: the glomerular arterioles and the sympathetic nervous system.	May CN	小児科学講座
喉頭 24:34-38、2012	喉頭軟骨肉腫の1症例	舘田 勝	耳鼻咽喉科学講座
JOHNS 28(5):772-774,2012	急性低音障害型感音難聴	水川敦裕	耳鼻咽喉科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Head Neck 34(11):1537-41, 2012	Malignant melanoma of the head and neck: a multi-institutional retrospective analysis of cases in Northern Japan	Shiga K	耳鼻咽喉科学講座
耳鼻臨床 105:617-622, 2012	デジタル補聴器の機能における語音明瞭度と主観評価についての研究	亀井昌代	耳鼻咽喉科学講座
Otol Jpn 22(2):849-854, 2012	化学放射線治療を第一選択とする聴器癌の治療	志賀清人	耳鼻咽喉科学講座
JOHNS 29(4):795-796, 2013	DeBakey tissue forcepsとVesalius bipolar coagulator	志賀清人	耳鼻咽喉科学講座
耳鼻咽喉科ニューロサイエンス 27:37-40, 2013	老人性難聴におけるSIRT3遺伝子多型の検索	嶋本記里人	耳鼻咽喉科学講座
耳展 56:補:140-141, 2013	過去10年間の当科における上顎洞癌治療の検討	大塚尚志	耳鼻咽喉科学講座
Cancer Sci 103: 1737-1743, 2012	miR-34a is downregulated in cis-diamminedichloroplatinum treated sinonasal squamous cell carcinoma patients with poor prognosis.	Ogawa T	耳鼻咽喉科学講座
Oncology 84(5):290-8, 2013	Matched-pair analysis in patients with advanced oropharyngeal cancer: surgery versus concurrent chemoradiotherapy.	Kano S	耳鼻咽喉科学講座
Oncogene. 32(27):3231-45, 2013	Bach1 is critical for the transformation of mouse embryonic fibroblasts by Ras(V12) and maintains ERK signaling	Nakanome A	耳鼻咽喉科学講座
日本耳鼻咽喉科学会会報 116: 640-641, 2013	喉頭壊死の診断と治療	志賀清人	耳鼻咽喉科学講座
Histochem Cell Biol 137 97-106 2012	P2Y purinoceptors induce changes in intracellular calcium in acinar of rat lacrimal glands	Yuki.Kamada	眼科学講座
Current Eye Research 37(6) 479-485 2012	Lovastatin Alters TGF- β -Induced Epithelial-Mesenchymal Transition in Porcine Lens Epithelial Cells	Chikako.Urakami	眼科学講座
Doc Ophthalmol 124 91-98 2012	Macular function evaluated by focal macular electroretinograms after reduced fluence photodynamic therapy in eyes with polypoidal choroidal vasculopathy	Shigeki.Machida	眼科学講座
RETINA 32(7) 1229-1236 2012	Choroidal Thickness and Visual Acuity in Highly Myopic Eyes	Yasunori.Nishida	眼科学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Ophthalmology 6 1073-1082 2012	Retinal ganglion cell function after repeated intravitreal injections of ranibizumab in patients with age-related macular degeneration	Tomoharu.Nishimura	眼科学講座
IOL&RS 26(3) 316-319 2012	虹彩離脱を伴った外傷性白内障4症例の手術成績	石川 清乃	眼科学講座
Experimental Eye Reseach 94 85-89 2012	Effect of vitamin C depletion on UVR-B induced cataract in SMP30/GNL knockout mice	Yohei.Ishikawa	眼科学講座
眼科 54(8) 1077-1083 2012	乳癌手術の24年後に発症した転移性脈絡腫瘍の1例	藤原 貴光	眼科学講座
Journal on Ophthalmology active ID 397178 2012	Clinical Applications of the Photopic Negative Response to Optic Nerve and Retinal Diseases	Shigeki.Machida	眼科学講座
Nature Genetics 44(4) 426-429 2012	Common variants at 11q12,10q26 and 3p11.2 are associated with prostate cancer susceptibility in Japanese	©(Akamatsu S.), Takata R.,(Haiman A C.), (Takahashi A.), (Inoue T.), (Kubo M.), (Furihata M.), (Kamatani N.), (Inazawa J.), (Chen K G.), (Marchand Le L.), (Kolonel N L.), (Kato H T.), (Yamano Y.), (Yamakado M.), (Takahashi H.), (Yamada H.), (Egawa S.), Fujioka T., (Henderson E B.), (Habuchi T.), (Ogawa O.), (Nakamura Y.), and (Nakagawa H.)	泌尿器科講座
Jpn J Clin Oncol. 42(7) 125-130 2012May25	Cancer Peptide Vaccine Therapy Developed from Oncoantigens Identified through Genome-wide Expression Profile Analysis for Bladder Cancer	©Obara Wataru,(Ohsawa R.), Kanehira M., Takata R., (Tsunoda T.), (Yoshida K.), (Takeda K.), (Katagiri T.), (Nakamura Y.), Fujioka T.	泌尿器科講座
Int J Urol. 19(6) 496-503 2012Jun	Evidence-Based Clinical Practice Guideline for Renal Cell Carcinoma: The Japanese Urological Association 2011 update	©Fujioka Tomoaki, Obara W.; The Committee for Establishment of the Clinical Practice Guideline for the Management of Renal Cell Carcinoma and the Japanese Urological Association	泌尿器科講座
Journal of human genetics 58(1) 21-26 2013Jan	Impact of four loci on serum tamsulosin hydrochloride concentration	©Takata Ryo, (Matsuda K.), Sugimura J., Obara W., Fujioka T., (Okihira K.), (Takaha N.), (Miki T.), (Ashida S.), (Inoue K.), (Tanikawa C.), (Shuin T.), (Sasaki S.), (Kojima Y.), (Kohri K.), (Kubo M.), (Yamaguchi M.), (Ohnishi Y.), (Nakamura Y.)	泌尿器科講座
Jpn J Radiol. 30 : 752-761(2012)	Combined intra-arterial infusion and systemic chemoradiotherapy for stage IV squamous cell carcinoma of the mandibular gingiva	Tatsuhiko Nakasato	放射線医学講座
International Journal of PIXE. 22 : 57-64(2012)	Decreasing size of radiosensitive capsules from micro to nano, and its increased antitumor effect and decreasing adverse effect.	Satoshi Harada	放射線医学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ups J Med Sci. 117:300-308(2012)	Central venous port-related infection in patients with malignant tumors: An observational study.	Akio Akahane	放射線医学講座
Cardiol Clin. 30 : 93-102(2012)	Subtraction coronary CT angiography for calcified lesions.	Kunihiro Yoshioka	放射線医学講座
Radiation Oncology. 7 : 15(2012)	Narrow safety range of intraoperative rectal irradiation exposure volume for avoiding bleeding after seed implant brachytherapy.	Ryuji Nakamura	放射線医学講座
Circ J 77(3): 789-828, 2013.	Guidelines for diagnosis and treatment of aortic aneurysm and aortic dissection (JCS 2011).	Takamoto S (Yoshioka K)	放射線医学講座
J Anesth. 26:658-663(2012)	Interleukin-18 levels reflect the long-term prognosis of acute lung injury and acute respiratory distress syndrome	Hideyuki Makabe	高度救命救急センター
J Infect Chemother. 18:891-897(2012)	Usefulness of presepsin in the diagnosis of sepsis in a multicenter prospective study	Shigeatsu Endo	救急医学講座
J Infect Chemother. 18:370-377(2012)	Experimental application of a synthetic luminescent substrate assay using endotoxin-specific limulus amoebocyte lysate to human blood	Chiaki Onodera	高度救命救急センター
岩手医学雑誌.64:57-61(2012)	valuation of presepsin with the point-of-care test in a case of severe sepsis	石部 頼子	高度救命救急センター
岩手医学雑誌.64:227-232(2012)	Continuous assessment of type II phospholipase A2 and the pulmonary oxygenating ability of a septic shock patient treated by polymyxin-B immobilized fiber-direct hemoperfusion: A case report	松本 尚也	高度救命救急センター
日本救命医療学会雑誌.26:29-33(2012)	可溶性CD14サブタイプ(プレセプシン)は敗血症の重症度を良く反映する 1症例からの検討	石部 頼子	高度救命救急センター
臨床病理.60:1045-1052(2012)	多白血球血漿を用いたエンドトキシン測定法の基礎的研究	菅 重典	高度救命救急センター
中毒研究.26:49-53(2012)	ポリスチレンスルホン酸ナトリウムおよび球形吸着炭常用による高度便秘から低カリウム性ミオパチーをきたした1例	藤野 靖久	救急医学講座
岩手医学雑誌 64 339-349 2012	大腸癌における癌腺管と背景粘膜の非腫瘍性腺管のDNAメチル化解析	吉田雅一	病理学講座 分子診断病理学分野
胃と腸 47 1935-1946 2012	発生部位に基づいた大腸癌の分子解析と背景粘膜のDNAメチル化異常	菅井 有	病理学講座 分子診断病理学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
消化器内視鏡 24 1119-1127 2012	SSA/Pと粘液性状と遺伝子解析	菅井 有	病理学講座 分子診断病理学分野
病理と臨床 30 1273-1275 2012	BRAF変異を有する右側発生のMSS型癌の予後は不良である！	菅井 有	病理学講座 分子診断病理学分野
Helicobacter Research 16 111-118 2012	粘液形質にもとづいた胃粘膜内癌および周囲腸上皮化生の分子異常	菅井 有	病理学講座 分子診断病理学分野
Gen Thorac Cardiovasc Surg 2012 60:140-141	Experimental study on effective application of fibrin glue	Hajime Kin	心臓血管外科学講座
Journal of Cardiology 2012 59, 275-284	the JMAP Investigator: Impact of diabetes mellitus on outcome in Japanese patients undergoing coronary artery bypass grafting	Kenji Minakata	心臓血管外科学講座
Ann Thorac Surg 2012;94:996-998	Aortic Translocation Using the Hemi-Mustard Procedure for Corrected Transposition	Akio Ikai	心臓血管外科学講座
Circulation 2012;126(suppl):S151-S157	Benefits of Off-Pump Coronary Artery Bypass Grafting in High-Risk	Akira Marui	心臓血管外科学講座
Diagnostic Microbiology and Infectious Disease 74 201-203 2012	Molecular characteristics of extended-spectrum β -lactamase-producing Escherichia coli in Japan: emergence of CTX-M-15-producing E. coli ST131	Hitoshi.Kuroda	臨床検査医学講座
J Med Microbiol 61 998-1002 2012	Limited detectability of linezolid-resistant Staphylococcus aureus by the Etest method and its improvement using enriched media	Yurika.Ikeda-Dantsuji	臨床検査医学講座
Ups J Med Sci. 117 300-308 2012	Central venous port-related infection in patients with malignant tumors an observational study	Akio.Akahane	臨床検査医学講座
Transfus Apher Sci. 47 139-143 2012	The hematological and clinical effects of X-ray contrast medium contaminating autologous blood for transfusion purposes	Tetsunori.Tasaki	臨床検査医学講座
Thromb Res. 131 166-172 2013	Compound heterozygous mutations (p.Leu13Pro and p.Tyr294*) associated with factor VII deficiency cause impaired secretion through ineffective translocation and extensive intracellular degradation of factor VII	Keijiro.Suzuki	臨床検査医学講座
日本臨床化学会東北支部会誌 21 26-32 2012	諏訪部章:東日本大震災における医療支援と臨床検査	諏訪部章	臨床検査医学講座
医療と検査機器・試薬 35 149-158 2012	新しい検査スタイルとPOCコーディネーター—医療機関によるミニラボ、訪問医療、災害医療における検査ツールとしてのPOCTの有効利用と精度管理の重要性— 2. 気軽にできる「ミニドック」の運用と問題点	諏訪部章	臨床検査医学講座
モダンメディア 58 1-24 2012	東日本大震災—あの日から一年 医療支援と今後の備え	諏訪部章	臨床検査医学講座
医学検査 6 341-346 2012	当院におけるレジオネラ症の検討 ～分離状況と患者背景～	畠山裕司	臨床検査医学講座
臨床病理 60 1155-1161 2012	社会人大学院の現状と課題 —修士課程を修了した臨床検査技師の立場から—	小原丈裕	臨床検査医学講座
日本化学療法学会雑誌 60 553-559 2012	基質特異性拡張型 β -ラクタマーゼ(ESBL)産生菌の分離状況～異なる2施設の分離状況の特徴とその要因分析～	小野寺直人	臨床検査医学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本化学療法学会雑誌 60 553-559 2012	基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ(ESBL)産生菌の分離状況～異なる2施設の分離状況の特徴とその要因分析～	小野寺直人	臨床検査医学講座
日本臨床検査自動化学会誌 37 84-88 2012	ミトコンドリアCKの影響を回避したCK-MB測定試薬「アキュラスオートCK-MB MitO」の基礎的検討	高橋敬太	臨床検査医学講座
Jpn J Antibiot 65 181-206 2012	2010年に全国72施設の臨床材料から分離された12,866株の各種抗菌薬に対する感受性サーベイランス	山口恵三	臨床検査医学講座
日本肺サーファクタント・界面医学 会雑誌 43 35-37 2012	ARDS発症と気道粘液中サーファクタント活性との関連	小笠原理恵	臨床検査医学講座
日臨化東北会誌 21 4-18 2012	当院で経験した破傷風2症例について	成田和也	臨床検査医学講座
日本臨床微生物学雑誌 22 289-297 2012	Scedosporium属が分離された津波肺の3症例	畠山裕司	臨床検査医学講座
岩手医学雑誌 64 381-391 2012	閉塞性睡眠時無呼吸症候群における血漿vaspin濃度と重症度および治療効果との関係	細川敬輔	臨床検査医学講座
化学療法の領域 28 94-101 2012	特集病院感染対策の実際「病院感染対策としての抗菌薬適正使用」	小野寺直人	臨床検査医学講座
INFECTION CONTROL 21 47-51 2012	特集 感染対策の見逃しポイント「器材の処理と消毒薬の管理」	小野寺直人	臨床検査医学講座
International Heart Journal 53:5-10, 2012	Body Surface Two-Dimensional Spectral Map of Atrial Fibrillation Using Vector-Projected 187 Channel Electrocardiography	Kenji NAKAI	口腔医学講座

計 136件

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 酒井 明夫
管理担当者氏名	病院事務部長 齋藤 俊哉 及び 各所属課長

		保管場所	保管方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院事務部 診療記録管理室 各診療科 薬剤部 看護部	診療記録等の管理は、1患者1番号制(ID番号)により管理している。入院診療録は、1入院1診療録とし、マイクロ・デジタル方式による収納としている。外来診療録は1患者各診療科別診療録とし、各診療科による収納としている。 病院日誌等の各種日誌に関しては、診療科ごとに1年分をまとめて保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事職員課	1職員1番号(ID番号)により管理している。 1職員1部の人事記録簿を人事職員課にて収納管理している。
	高度の医療の提供の実績	病院事務部 医務課	各技術ごとに病院事務部医務課にて診療報酬明細書をファイリングして管理している。
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院事務部 医務課	各診療科からの報告書を基に電子媒体化を行い病院事務部医務課にて管理している。
	高度の医療の研修の実績	病院事務部 医務課	各診療科からの報告書を基に電子媒体化を行い病院事務部医務課にて管理している。
	閲覧実績	病院事務部 医務課	閲覧ごとに詳細情報を電子媒体化し病院事務部医務課にて管理している。
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院事務部 医務課	紹介日、紹介先診療科ごとに管理システムに入力し病院事務部医務課内医療連携室にて管理している。
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院事務部 医務課 薬剤部	医療情報システムからデータを抽出し、紙媒体および電子媒体にて管理している。
	規則第一条の二十三第一項各号及び第九条の二十三第一項各号及び掲げる体制の確保の状況	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部

	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	委員会資料、議事録、出席者名簿について開催毎にまとめ紙媒体で医療安全管理部にて管理している。議事録については電子媒体でも管理している。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	全職員対象研修については電子媒体管理システムに出欠状況を入力し医療安全管理部にて管理している。その他研修については参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で医療安全管理部にて管理している。
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	医療安全推進委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて医療安全管理部にて管理している。
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務部人事職員課	医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課	医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	医療に係る安全管理のための指針に規定し電子媒体および紙媒体で医療安全管理部にて管理している。
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部及び 医療福祉相談室	各科から寄せられた相談の内容を「相談記録票」にて医療福祉相談室に報告を行い、医療福祉相談室において「受付簿」に記載して報告・記録を綴り、保管している。

(注) 「診療に関する諸記録」欄は、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

		保管場所	保管方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	院内感染対策室 法律の改正等必要に応じて適宜指針を改定し、電子媒体および紙媒体で医療安全管理部にて管理している。改廃内容については岩手医科大学規定集編纂総括管理者に届け出ている。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策室 委員会資料、議事録、出席者名簿について開催毎に策室まとめて紙媒体で感染対策室にて管理している。議事録については電子媒体でも管理している。
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実態状況	院内感染対策室 全職員対象研修についてには電子媒体管理システムに出欠状況を入力し、感染対策室にて管理している。その他講習会については参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で感染対策室にて管理している。
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室 院内感染対策委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて感染対策室にて管理している。
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課 医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
		従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で医療安全管理部にて管理している。
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 医薬品安全管理責任者と医療安全管理部で作成および修正を行い院内各部署へ配布しており、電子媒体にて医療安全管理部にて管理している。
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 医療安全推進委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて医療安全管理部にて管理している。
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課 医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室 医療機器材料部会と医療安全管理部が合同で開催する講習会、または部署ごとに実施する研修記録全てを管理している。
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室 院内中央管理機器については臨床工学室を窓口として実施管理。部署配置機器は各部署ごとに実施記録管理している。
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 臨床工学室が情報収集、文章作成を行い、医療安全管理部より各部署へ配布管理となっている。		

(注) 「診療に関する諸記録」欄は、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧管理者氏名	齋藤俊哉
閲覧担当者氏名	病院事務部次長 千葉久人 病院事務部医務課長 佐藤嘉英 病院事務部医事課長 小野圭子 人事職員課長 吉田秀樹
閲覧の求めに応じる場所	諸記録閲覧室、カンファレンスルーム、会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延 0 件	
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	58.9 %	算定期間	平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	16,336 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	17,320 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,338 人	
	D: 初診の患者の数	43,785 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容: ①当該病院における安全管理に関する基本的考え方</p> <p>②安全管理委員会(委員会を設ける場合について対象とする。)その他の当該病院等の組織に関する基本的事項</p> <p>③医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針</p> <p>④当該病院等における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</p> <p>⑤医療事故等発生時の対応に関する基本方針</p> <p>⑥医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針(患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む)</p> <p>⑦患者からの相談への対応に関する方針</p> <p>⑧その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容: 当該病院等における安全管理の体制確保及び推進のために設ける</p> <p>①重大な検討内容について、患者への対応状況を含め管理者への報告</p> <p>②重大な問題が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る</p> <p>③安全管理委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し見直しを行う</p> <p>④月1回程度開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 43 回
<p>・ 研修の主な内容: ③医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について当該研修を実施する病院等の従業者への周知徹底を行い、個々の従業者の安全に対する意識、安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識の向上等を図る</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容: ①病院において発生した事故の安全管理委員会への報告。</p> <p>②あらかじめ定められた手順、事故収集の範囲等に関する規定に従い事例を収集、分析し、病院における問題点を把握して病院の組織としての改善策の企画立案及び実施状況を評価し病院において情報を共有する。</p> <p>③重大な事故の発生時には、速やかに管理者へ報告する。なお、事故の報告は診療録、看護記録等に基づき作成する。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の設置状況	有 (2名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 無
<p>・所属職員: 専任(3)名 兼任(10)名</p> <p>・活動の主な内容: ①安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存。その他安全管理委員会の庶務に関する活動。</p> <p>②事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされているかの確認及び指導を行う。</p> <p>③患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び指導を行う。</p> <p>④事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導を行う。</p> <p>⑤医療安全に係る連絡調整、及びその他医療安全対策の推進に関する活動。</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容: ①院内感染対策に関する基本的考え方</p> <p>②院内感染対策のための委員会(委員会を設ける場合を対象とする。)その他の当該病院等の組織に関する基本的事項</p> <p>③院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針</p> <p>④感染症の発生状況の報告に関する基本方針</p> <p>⑤院内感染発生時の対応に関する基本方針</p> <p>⑥患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本指針</p> <p>⑦その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・ 活動の主な内容: 当該病院等における院内感染対策の推進のために設ける</p> <p>①重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、管理者への報告</p> <p>②院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る</p> <p>③院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う</p> <p>④月1回程度開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 14 回
<p>・ 研修の主な内容: ①院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策について、当該研修を実施する病院等の従事者に周知徹底を行うことで、個々の従業者の院内感染に対する意識を高め、業務を遂行する上での技能やチームの一員としての意識の向上等を図る</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・ 無)</p> <p>1.耐性菌検出時、感染症対策室にメールと電話で連絡。また同時に担当医に耐性菌警告書と電話で連絡。</p> <p>2.感染症発生時、病棟師長・担当医から連絡、感染症報告書の提出</p> <p>3.検査部から院内感染症情報(1回/週)の報告</p> <p>4.検査部から感染対策委員会での報告(1回/月)</p> <p>*当院アウトブレイク規程に基づいて対応</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容: ①院内感染の発生状況を把握するため、病院における感染症の発生動向の情報を共有し、院内感染の発生の予防及びまん延の防止を図る。</p> <p>②重大な院内感染が発生し、院内のみでの対応が困難な事態が発生した場合、または発生したことが疑われる場合は地域の専門家等に相談が行われる体制の確保。</p> <p>③「院内感染対策の指針」に即した院内感染対策マニュアルの整備、及び見直し。</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容: ① 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事項</p> <p>② 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関する事項</p> <p>③ 医薬品による副作用等が発生した場合の対応(施設内での報告、行政機関への報告等)に関する事項</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容: ① 病院等の規模や特徴に応じて以下の事項を含む手順書について安全管理委員会で協議を行い作成または変更を行う</p> <p>① 病院等で用いる医薬品の採用・購入に関する事項</p> <p>② 医薬品の管理に関する事項(例＝医薬品の保管場所、薬事法(昭和35年法律第145号)などの法令で適切な管理が求められている医薬品(麻薬・向精神薬、覚せい剤原料、毒薬・劇薬、特定生物由来製品等)の管理方法)</p> <p>③ 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項(例＝患者情報(薬剤の服用歴、入院時に持参してきた薬剤等)の収集、処方箋の記載方法、調剤方法、処方箋や調剤薬の監査方法)</p> <p>④ 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項</p> <p>⑤ 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い(収集、提供等)に関する事項</p> <p>⑥ 他施設(病院等、薬局等)との連携に関する事項</p> <p>⑦ 手順書に基づく業務の実施については、医薬品安全管理責任者に対して、従業者の業務が医薬品業務手順書に基づき行われているか定期的に確認し、確認内容の記録を行う</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容:</p> <p>厚生労働省ホームページ、PMDAホームページ、日本医療評価機構ホームページ、製薬会社、日本病院薬剤師会ホームページ、業界新聞等から情報を収集している。</p> <p>また、収集した医薬品情報に関して迅速に適切な措置を講じる体制を構築している。</p> <p>現在、定期的に医療安全推進室からの「医薬品・医療機器等安全性情報」および薬剤部からの「DI ニュース」を通じて情報を周知している。また、必要に応じ医療安全推進室からの医療安全通知および薬剤部からの薬務連絡により緊急の通知に対応している。また、必要に応じて安全使用のための講習会にて改善のための方策を周知・実施している。</p>	

医療機器に係る安全使用のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実態状況	年 50 回以上
<p>・ 研修の主な内容: ◎新しい医療機器の導入時及び特定機能病院における定期研修は以下の研修を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療機器の有効性・安全性に関する事項 ○医療機器の使用方法に関する事項 ○医療機器の保守点検に関する事項 ○医療機器の不具合等が発生した場合の対応(施設内での報告、行政機関への報告等)に関する事項 ○医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有)・無)</p> <p>保守点検の主な内容:・臨床工学技士による保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> 年2回の院内定期点検、および使用年数・作動時間に基づいて消耗部品の交換 ・メンテナンス契約によるメーカーまたは専門業者による保守点検 年1回、機種によっては年2回の外注による動作点検・消耗部品の交換 ・保守契約付リース機器における専門業者による保守点検 年1回のメーカー点検表に基づいた定期点検・消耗部品の交換 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容:①医療機器の添付文章、取り扱い説明書等の医療機器の安全使用・保守点検に関する情報の整理及び管理。</p> <p>②医療機器の不具合情報や安全性情報等の安全使用のために必要な情報を製造販売業者から一元的に収集し、得られた情報を医療機器に携わる職員に対して適切に提供する。</p> <p>③管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報収集に努め、病院管理者への報告を行う。</p>	